

北薩地区人権教育授業実践研修会

(平成 30 年 6 月 22 日金曜日)

1 目的

「鹿児島県人権教育・啓発基本計画」を踏まえ、児童生徒一人一人の人権尊重の精神の高揚を図るため、指導体制、指導内容、指導方法等の在り方についての協議及び研究授業を行い、各学校における人権教育の一層の推進・充実を図る。

2 会場

出水市立高尾野小学校

3 出席者

地区内小・中・義務教育・高等学校教諭等

4 研修の様子



研修Ⅰ 県教育庁人権同和教育課 川畑真英指導主事
自他の大切さを認めることができる子供たちを育成するために「子供一人一人の育ちを全力でつなぐ教職員を目指して」

研修Ⅱ 北薩教育事務所 岩屋芳文指導主事
「北薩地区の人権教育の推進・充実のために」
演習:「参加型学習の実際」



研修Ⅲ

学校全体で推進する人権教育（グループ協議・発表・まとめ）



研究授業 出水市立高尾野小学校 肥後貴史教諭 6年2組 社会科「戦国の世から江戸の世へ」



授業研究・研究協議

【参加者の感想】

- 人権教育の研修時間の確保や捉え方が理解できた。小・中・高と校種が違う先生方と意見交換を行う中で、発達段階に応じた課題を考えるよい機会となった。
- 「人権教育は全ての教育の基本」と言われるように、これからもずっと向き合っていかなければならないことなので、学校全体で「Mom」の基本姿勢を頭に入れて取り組んでいきたい。
- 資料「なくそう差別～」の活用方法について改めて考える機会になった。研究授業では、子供たちに今日の授業のポイントを的確に伝えているのがすばらしいと感じた。
- 「仲間づくり」を活用した参加型学習についても、各学年で計画的に位置付け、子供たちの自尊感情や人権感覚を磨いていきたいと思う。
- 「人の話をしっかり聴く生徒」の育成が心に響きました。自他の大切さを認めることのできる子供を育成するための自分の指導実践のポイントと思いました。「Mom」を生命線に、「見つめる、思いをめぐらす、向き合う」ことを心に刻んで実践します。